

## 令和7年度 学校関係者評価委員会 結果

### 1. 学校関係者評価委員会開催日時・場所

令和8年3月18日(水) 10:30~11:30 看護学校 学校長室

### 2. 学校関係者評価結果と今後の課題

- 1) 準備資料 (1) 令和7年度看護学校運営目標に対する実施及び評価  
(2) 学生によるカリキュラム評価(卒業生、2年生)  
(3) 授業科目別平均点一覧  
(4) 学生による科目評価一覧  
(5) 自己点検・自己評価結果  
(6) 教育理念・教育目標

#### 2) 審査結果

令和7年度看護学校運営目標ごとに評価委員による審査結果を一部抜粋して掲載する。

##### (1) 「教育の質の向上を図る」

- ・閉校に向けて前向きに教育に取り組まれていることに感銘を受ける。業者模試、グループ学習、補講等の実施により成績の底上げを行い、国家試験の自己採点において必修問題を全員80%以上に到達できたことは素晴らしいと思う。国家試験合格、就職試験に向けて、個々の学生に合わせた支援体制をとられており、昨年度よりも国立病院機構への就職率が向上しており、取り組みの成果が伺える。また、2年生の「個別指導、進路相談など学生をサポートする体制が整っている」が3.4点と高評価であることは教職員のお力だと思う。来年度は最後の学年となるため、全員合格できるよう、引き続き個別の指導をお願いしたい。

##### (2) 学校経営基盤の安定を図る

- ・閉校記念誌や閉校記念式典の準備等、大変だと思うが、学校の長い歴史に幕を下ろすということでも重要な役割を果たされるので引き続き頑張っていたきたい。
- ・教員間のコミュニケーション不足が見受けられたとあるが、教員の不調和は学生に大きく影響するため、教員間のコミュニケーションを十分に図って、チーム一丸となって卒業・閉校に臨んでいただきたい。

##### (3) 社会人としての自覚を高め、主体性及び協調性を養うよう支援する

- ・2学年での少ない人数で行事に取り組み学生間の絆が高まった様子が伺えた。学校祭として通所施設での健康講座とレクリエーションの実施は地域貢献にもつながったと思う。
- ・教員の人間関係が良好であれば、自然と学生にも心地よさや良好なコミュニケーション方法が伝わると思うので、学生のロールモデルとして教員間のコミュニケーションを高めていただきたい。

##### (4) 教員としての能力開発に努める

- ・中国四国グループ主催の研修受講(2名)、副学校長・教育主事協議会新人教員研修部事業の授業研修実施(1名)、中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会参加(5名)、日本看護学校協議会学会参加(2名)、鳥取県看護協会主催実習指導者講習会講師派遣(1名)。中国四国グループ主催実習指導者講習会演習指導講師派遣(2名)。
- ・学会参加・研修受講・講師派遣等、能力開発に努めている。

##### (5) 学習、生活環境の充実に努める

- ・昨年度の意見を踏まえて電子書籍を導入されたことは良かったと思う。
- ・光熱費の抑制、閉校を見据えた最小限の物品調達・建物整備等、経費削減にご協力いただき感謝している。最後の学生が在学中であるため、あまり閉校感を感じさせないように留意しながら今後もご協力をお願いしたい。